

Factory Innovation Week など

アズビル

スマート工場EXPO

アズビルはオートメーションで生産現場や職場環境を支えてきた。今回提案する「自律化システム」では、従来の技術に人工知能（AI）技術を融合し、これまでのレベルを超える生産性とサステナブルな生産空間の実現を目指す。

展示会場では「オートメーションの未来地図」自律化で創る超生産性とサステナブルな生産空間」をテーマに、汎用人工知能（AGI）と人が共存する未来の工場を実現する自律化システムのコンセプトを紹介。予兆保全を行う新製品のAIベースCBMプラットフォーム「BIG EYES（ビッグアイ）MM」やAI品質ナビゲーションシステムなどの展示で、自律化システムを体感できる。

製造業が直面するさまざまな課題に対するソリューションを提案する展示会「Factory Innovation Week 2025」、第11回「ウェアラブルEXPO」ウェアラブル「開発」・「活用」展「第4回」スマート物流EXPO」物流DX／ロボット／カーボンニュートラル展」が22日から24日までの3日間、東京ビッグサイトの東展示棟8ホールと南展示棟で開かれる。主催はRX Japan。開場時間は10時から17時まで。入場には事前登録（無料）が必要で、同展ホームページより入手できる。

Factory Innovation Week 脱炭素・デジタル・自動化－焦点

「Factory Innovation Week 2025」は「デジタル化」「自動化」「脱炭素化」を製造業の課題として掲げ、テーマ別の三つの展示会でその解決策を示す構成となっている。



アズビルの展示では自律化システムを提案（第8回スマート工場EXPO）

（AI）を活用したさまざまなサービスやエグゼクティブファクトリー・ギアにつながるシステムなど、新技術が提案されている。自動化がテーマの第9回「ロボテックスーパー」ロボット「開発」・「活用」展「第1回」マシメント・シボニユニット展（システム）など省エネルギー管理するFEMS（フーシオン（GX）の実現に近づくための最新技術が一堂に会する。

スマート物流EXPO

物流DXの革新技術

最新デバイスで安全作業を実現

ウェアラブルEXPO

物流業界では2024年にドライバーの時間外労働の上限規制が行われたことにより、人手不足による運送業務の効率の低下など、さまざまな問題に直面している。この解決策として、DXに期待が寄せられている。「第4回スマート物流EXPO」物流DX／ロボットのカーボンニュートラル展」では物流DXや電気自動車（EV）トラック、自働倉庫などに関する最新の技術などを展示する。

あすみる、アズビル。

計測・制御技術を通して、ビル・工場・住宅の安心・快適の実現と地球環境に貢献します



人を中心としたオートメーション



©Expo 2025

アズビル株式会社